

保健医療福祉行政論I

必修

開講年次：3年次前期

科目区分：演習

単位：1単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：保健・医療・福祉に関する様々な制度・施策の中から、特に重要と思われるものを取り上げ、その歴史的背景を踏まえながら最近の施策の動向と将来の課題について学ぶ。また、保健医療福祉に関する法律や制度について理解を深める。

■**到達目標**：①各回の講義ごとに取り上げる制度と施策の概要、目的、背景及び今日までの歩み等について正しく理解する。
②現在行われている施策に対して自分の意見を述べることができる。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

◎櫻井 繭子・本田 光・守村 洋・近藤 圭子・田仲 里江・清水 光子

■**授業計画・内容**：

- 第1回 保健医療福祉行政の理念と変遷
- 第2回 保健医療福祉行政と財政の仕組み
- 第3回 地域保健行政1
- 第4回 医療制度、医療提供体制
- 第5回～第8回 地域の人々の生活と健康を守る法律と施策（演習）
- 第9回 母と子の保健医療福祉施策
- 第10回 子どもたちを虐待から守るために
- 第11回 成人・健康づくりの保健医療施策
- 第12回 障がい者の保健医療福祉施策
- 第13回 精神障がい者の保健医療福祉施策
- 第14回 高齢者の保健医療福祉施策
- 第15回 まとめ

*単元の順序は、一部変更する可能性がある。

■**教科書**：公衆衛生がみえる（メディックメディア）

■**参考文献**：最新保健学講座7 保健医療福祉行政論／野村陽子 編集（メヂカルフレンド社）
これからの保健医療福祉行政論／星旦二 編集（日本看護協会出版会）

■**成績評価基準と方法**：定期試験70%、授業態度30%

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	目標①	目標②		
定期試験	◎	○	授業の理解度	70
授業態度	○	◎	授業、グループワークや発表への取り組み	30
出席			2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：公衆衛生学、社会福祉学、公衆衛生看護学概論

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：保健・医療・福祉に関する各種行政施策の中から重要と思われる課題を取り上げ解説します。各種行政施策と看護活動との関連性を考えながら学んでください。